

## レポート

## インド下院総選挙 2024 の結果と今後の見通し

～第3次モディ政権誕生も、連立政権により意思決定が鈍化～

グローバルコンサルティング部 [東京] アソシエイト 榎堀 秀耶

2024年6月4日に開票を迎えたインド下院総選挙は、市場関係者の事前の見立てに反し、予想外の結果となった。ナレンドラ・モディ首相率いる与党・インド人民党(BJP: Bharatiya Janata Party)が、前回総選挙を上回る議席数を獲得し、今回も単独過半数を得るであろうと思われていた。だが、BJPは大きく議席数を減らし、単独過半数割れとなる事態となった。BJPを主軸とする与党連合・国民民主同盟(NDA: National Democratic Alliance)は、過半数を維持した。同年6月9日にはモディ氏が3期目の首相に就任したものの、3期目のモディ政権は連立政権とならざるを得ず、連立を組む地方政党との連携次第では、従来の強権的かつスピーディーな政権運営は変更を余儀なくされる可能性がある。

本稿では、インド下院総選挙の結果を概観した上で、BJPが議席を減らした要因を分析し、今後の政権運営の見通しを考察する。

## 1. インド下院総選挙 2024 の結果

## (1) インドの連邦議会における下院の位置づけ

インドの連邦議会は、旧宗主国の英国と同様、上院(Rajya Sabha)と下院(Lok Sabha)の二院制を採用している。下院の上院に対する優越が認められており、下院の第一党から首相が選出される仕組みである。下院の任期は5年で、定数545議席のうち543議席が小選挙区制直接選挙によって、残り2議席がアングロ・インディアン<sup>1</sup>と呼ばれる少数民族から大統領が任命することによって、それぞれ選出される。下院の選挙権年齢<sup>2</sup>は18歳以上で、被選挙権年齢は25歳以上となっている。

## (2) インド下院総選挙 2024

## [1] スケジュール

下院総選挙の投票は、例年、地域ごとに日を分けて行われる。今や14億人を超え、中国を抜いて世界最大の人口を誇るインドでは、今回の下院総選挙の有権者数も9億6900万人<sup>3</sup>にまで上るといわれている。また、有権

<sup>1</sup> アングロ・インディアン: 英国統治時代にインド人と英国人との間に生まれた人々

<sup>2</sup> 選挙権年齢: 投票が可能となる年齢

<sup>3</sup> (出所) BBC, India elections 2024: When were they, who could vote and why do they matter?

<https://www.bbc.com/news/world-asia-india-68678594> (※最終アクセス 2024年6月7日) (外部リンク)

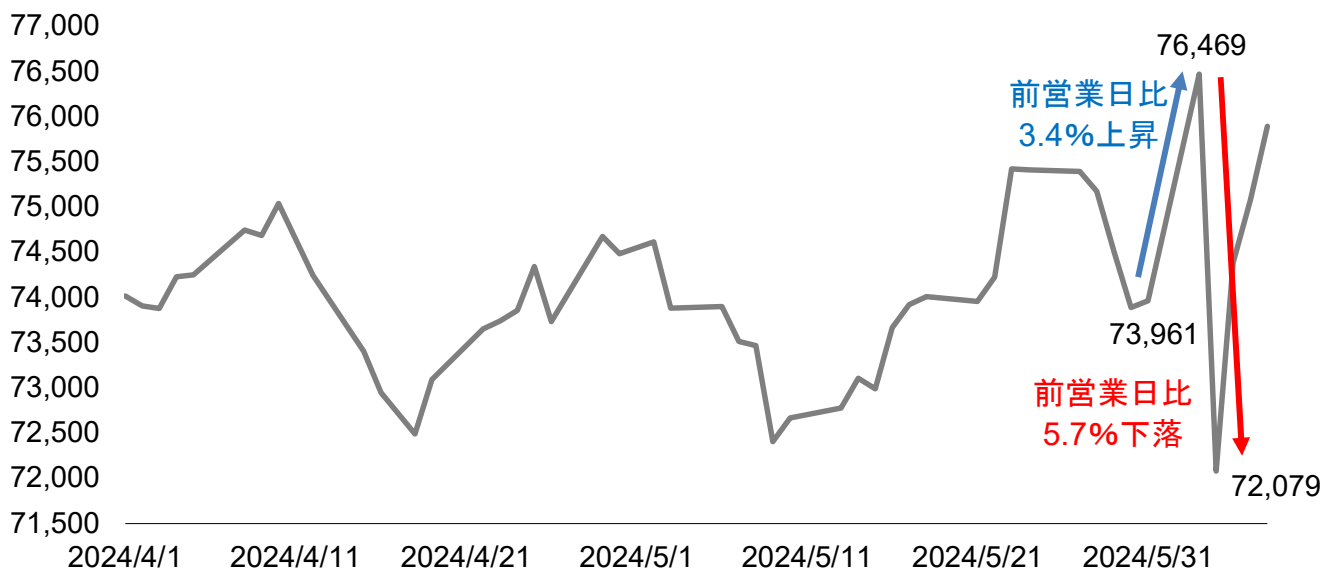
者数の多さに加えて国土も広大であることから、治安維持なども含めた選挙管理に万全を期すため、上述の体制を採っている。

今回の下院総選挙のスケジュールは、2024年3月16日にインド選挙管理委員会（ECI: Election Commission of India）が公表したもので、同年4月19日から6月1日までの期間で全7回に分けて投票日が、同年6月4日に開票日が設けられた。投票は電子投票機が用いられており、一斉開票が可能となっている。

## [2] 出口調査を踏まえた市場動向

2024年6月1日の最終投票終了後、現地メディア各社が出口調査の結果を報道した。現地出口調査機関のAxis My Indiaは、BJP率いるNDAが543議席のうち361から401議席を獲得し、対抗馬である野党・インド国民会議派（INC: Indian National Congress）率いる野党連合・インド国家開発包括同盟（INDIA: Indian National Developmental Inclusive Alliance）を抑え、圧勝すると予想した。その他の出口調査機関も概してNDAの大勝予想を報じた<sup>4</sup>。これを受け、インドの主要株価指数であるSENSEX5は同年6月3日、前営業日比3.4%上昇した（図表1）。

図表1 乱高下するSENSEX



（出所）ボンベイ証券取引所を基に当社作成

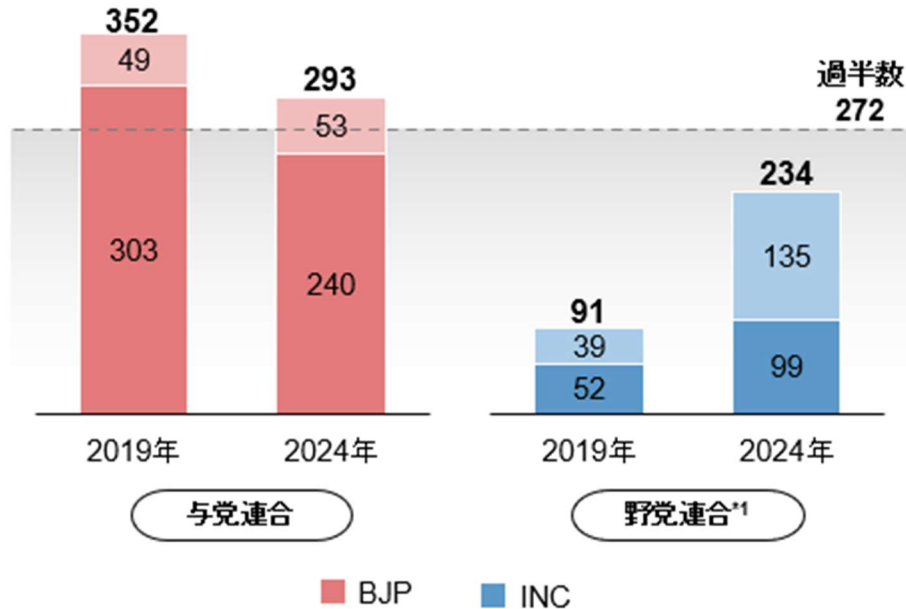
## [3] 開票結果

2024年6月4日に一斉開票を迎えると、インド市場は大荒れとなった。与党連合・NDAは293議席を獲得し、過半数（272議席）を上回ったが、BJP単独では240議席と前回総選挙から63議席減らし、単独過半数を

<sup>4</sup>（出所）NDTV、Exit Poll Results 2024 Highlights: Most Exit Polls Predict Over 350 Seats For BJP-Led NDA  
<https://www.ndtv.com/india-news/exit-poll-results-2024-live-updates-lok-sabha-election-poll-of-exit-poll-results-5793719>（※最終アクセス2024年6月7日）（外部リンク）

割る結果となった。NDA に代わり、議席数を伸ばしたのが野党連合・INDIA である。野党第一党の国民会議派は 99 議席を獲得し、前回総選挙から 47 議席増やした。また、野党連合としては 234 議席を獲得し、前回総選挙から 143 議席増やした(図表 2)。これに伴い、SENSEX<sup>5</sup>も同日、前営業日比 5.7%下落した(図表 1)。

図表 2 与党連合と野党連合の議席数比較(2019、24 年)



(注 1) 野党連合は 2019 年が統一進歩同盟 (UPA: United Progressive Alliance)、2024 年が INDIA の獲得議席数 (出所) ECI、各種報道を基に当社作成

## 2. BJP 議席減の要因

BJP 議席減の要因を州別の選挙結果から分析してみると、国民の多くを占める農民や低カーストを中心とした、社会的弱者の票を獲得できなかったことが推測される(図表 3)。

### (1) 農村部に漂う疎外感

BJP が議席を失った州の多くは、ウッタル・プラデシュ州やマハーラーシュトラ州、ラジャスタン州、ビハール州など、農民の多い州となっている。モディ政権は製造業の振興に重点的に取り組み、インド経済を堅調に成長させてきた一方で、農村部における就業機会拡大や所得向上、食料物価上昇などに対する支援を蔑ろにしてきた。そうした農民の不平等感や疎外感が、今回の選挙結果に影響したと見られる。

### (2) ウッタル・プラデシュ州での大敗

<sup>5</sup> SENSEX: インドを代表する株価指数で、ボンベイ証券取引所 (BSE: Bombay Stock Exchange) に上場している同国の主要 30 銘柄で構成される

## [1] 低カースト層の軽視

ウッタル・プラデシュ州では BJP が前回総選挙の 62 議席から 33 議席と、29 議席を失うなか、低カーストに支持基盤を持つ政党・SP(Samajwadi Party)は前回総選挙の 5 議席から 37 議席と、32 議席を増やし、大幅に議席数を伸ばした。これは、BJP が公約として「その他の後進諸階級(OBC:Other Backward Cast)」や指定カースト、指定部族に与えられている特権を廃止することを発表していた一方、SP は低カースト重視のスローガンを掲げていたことが背景にあると見られる。

図表 3 BJP と INC の議席数の増減(2019~24 年)

州名	BJP			INC		
	前回*1	今回*2	増減*3	前回	今回	増減
ウッタル・プラデシュ	62	33	▲ 29	1	6	5
マハーラーシュトラ	23	9	▲ 14	1	13	12
ラジャスタン	24	14	▲ 10	0	8	8
カルナータカ	25	17	▲ 8	1	9	8
西ベンガル	18	12	▲ 6	2	1	▲ 1
ビハール	17	12	▲ 5	1	3	2

(注 1)2019 年の下院総選挙の議席数

(注 2)2024 年の下院総選挙の議席数

(注 3)2019 年と 2024 年の議席数の差

(出所)ECI、各種報道を基に当社作成

## [2] ヒンドゥー教至上主義とイスラム教徒への差別

また、ウッタル・プラデシュ州はイスラム教徒の割合が全国平均(14.2%)よりも高い(約 20%)といわれている。そのため、ヒンドゥー至上主義を掲げる BJP のイスラム教徒に対する強権的な姿勢も、今回の議席減に一部影響したと見られる。2024 年 3 月には、同州の高等裁判所がイスラム神学校を管理する法律を違憲とし、イスラム神学校を事実上禁止とする判決を下した。高等裁判所は同州政府に対して、イスラム神学校に通う生徒を別の主流派の学校に転校させるよう指示を出すなど、ヒンドゥー至上主義の象徴的な事例として物議を醸した<sup>6</sup>。

## 3. 今後の政権運営の見通し

2024 年 6 月 9 日、モディ氏は首相に就任し、2014 年から連続して 3 期目となるモディ政権が誕生した。しかし、BJP は単独過半数を割り込んでおり、今後の政権運営は、連立を組む地方政党に配慮したものにならざるを得ない。連立政権となることに伴い、政権運営には以下のような影響が出てくることが予想される。

<sup>6</sup> (出所)CNN、印ウッタルプラデシュ州高裁、イスラム神学校を事実上禁止に <https://www.cnn.co.jp/world/35216939.html>(※最終アクセス 2024 年 6 月 7 日)(外部リンク)

### (1) モディ首相の求心力低下に伴う政策決定のスピード鈍化

今後、モディ首相の求心力が低下することで、従来の強権的な政策決定は難しくなるだろう。また、政策立案にあたっては連立を組む地方政党の同意を取り付ける必要が生じるため、スピードが鈍化する可能性がある。

### (2) 社会的弱者を念頭においた、ポピュリスト的な政権運営

今回の選挙で、社会的弱者層において政権に対する不満が蔓延していることが明らかになった。これを受け、農民や低カースト層を念頭においた補助金や現金給付関連の予算が編成され、大衆迎合的な財政支援が打ち出される可能性がある。

### (3) ヒンドゥー至上主義の軟化

連立を組む地方政党はイスラム教徒との関係性も深く、ヒンドゥー至上主義的な政権運営が軟化する可能性がある。

内政上は一定の変化が見込まれる一方で、外交上は「自立したインド (Self-Reliant India)」を目指すこれまでの基本方針に大きな変更はないだろう。また、中国・パキスタンなど国境を接する隣国の脅威を意識しつつ、自国にとって利益をもたらすよう「全方位外交」を展開すると思われる。モディ首相が掲げる「2047年までの先進国入り」を果たすためには、複雑化する政権運営の手腕とより一層の高度な経済成長が求められる。

※本稿は三菱UFJ銀行会員制情報サイト「MUFG BizBuddy(2024年6月17日)」からの転載です。

#### — ご利用に際して —

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。